

30年11月号



検査室だより

いも・くり・南瓜。さんまにきのこ。そうそう、鮭も美味しいですよね。それと新米。美味しいものがいっぱい！食いしん坊さんにはたまりません。ダイエットは・・・ちょっとお預けですね。

「風しん」が流行っています。風しんの届け出数が多い都道府県の中に、ここ愛知県が入っています。10月には厚生労働省から、「一層の注意喚起、対策をしてください」という通達も出ました。また、事業主に向けて「風しん予防対策をしてください」という協力依頼も出されました。

風しんは「三日ばしか」ともいわれます。はしかに似た赤いぶつぶつができるから2~3日で治ることが多いのです。風しんウイルスを持っている人の「つば」でうつります。はしかや水ぼうそうのように強い感染力はありません。症状もそれほどひどくありません。しかし！妊娠中の女性がかかると、難聴や心疾患、精神や身体の発達の遅れなどの障がいを持った赤ちゃんが生まれる可能性があります（先天性風しん症候群）。厚生労働省も「早期に先天性風しん症候群の発生をなくすとともに、平成32年度までに風しんの排除を達成すること」と目標を掲げています。その目標を達成するためには女性、男性関係なく「ヒト」が一致団結してワクチンを接種し風しんを広めないようにしなければなりません。



では、大人の場合どこで検査をしたり、ワクチンをうつたりしたら良いのでしょうか？愛知県では条件を満たす対象者には無料で抗体検査をしています。スマホやパソコンで [愛知県 風しんワクチン](#) と検索してみてください。愛知県の公式ホームページ内にワクチン接種に関するお知らせや、ワクチン接種の問い合わせ先なども載っています。「自分は関係ない」ではなく風しんの合併症から身を守り、家族や周りの人への感染を予防しましょう。

朝晩はストーブが恋しくなってきました。コンコンと咳をしている人も見かけます。体調に気をつけて「秋」を楽しんでください。

公衆保健協会 検査室

